

資料番号	8
------	---

令和7年2月14日
課 名 商工労働局経営革新課
担当者 担当課長 森川
内 線 3460

広島県経済の動向

令和7年2月14日

商 工 労 働 局

目 次

1	経済動向の概要	1
	（１）国内経済の動向	
	（２）広島県経済の動向	
2	県内主要製造業の生産動向	3
	（１）鉄鋼	
	（２）自動車	
	（３）造船	
	（４）一般機械	
	（５）電気機械	
3	県内小売業等の動向	5
	（１）百貨店・スーパー	
	（２）宿泊・飲食サービス	
	（３）観光	
4	中小企業の動向	7
	（１）概況	
	（２）景況感・景況感の変化	
	（３）前月から変化のあった主な業種	
5	企業倒産状況	9
	（１）概況	
	（２）業種別	
	（３）原因別	
	（４）今後の見通し	
6	最近の雇用失業情勢	10
	（１）県内の有効求人・求職の動向	
	（２）県内の新規求人・求職の動向	
	（３）県内の人員整理の状況	
	（４）完全失業率の状況（全国・県内）	

（注）「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

1 経済動向の概要

(1) 国内経済の動向

ア 概要

指 標	R 6 年		R 7 年
	11月	12月	1 月
基調判断	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している		
輸 出	おおむね横ばいとなっている		
生 産	このところ横ばいとなっている	横ばいとなっている	
設備投資	持ち直しの動きがみられる		
雇用情勢	改善の動きがみられる		
個人消費	一部に足踏みが残るものの、持ち直しの動きがみられる		
住宅建設	おおむね横ばいとなっている		
消費者物価	このところ上昇している		上昇している
企業収益	総じてみれば改善している	総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている	

イ 先行き

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、アメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和 7 年 1 月 23 日公表）】

(2) 広島県経済の動向

ア 概要

指 標	R 6 年		R 7 年
	10月	11月	1 月
基調判断	緩やかな回復基調にある		
輸 出	弱めの動きとなっている		
生 産	横ばい圏内の動きとなっている		
設備投資	増加している		
雇用・所得	緩やかに改善している		
個人消費	緩やかな回復基調にある		
住宅投資	弱めの動きとなっている		
消費者物価 (除く生鮮食 品、広島市)	前年を上回っている		

イ 県内の経済の先行き

先行きの景気は、緩やかな回復が続くことが期待されるが、海外経済の動向や物価動向などが県内の経済金融情勢および回復のペースに与える影響を注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」(令和7年2月6日公表)】

※令和6年12月分の公表なし

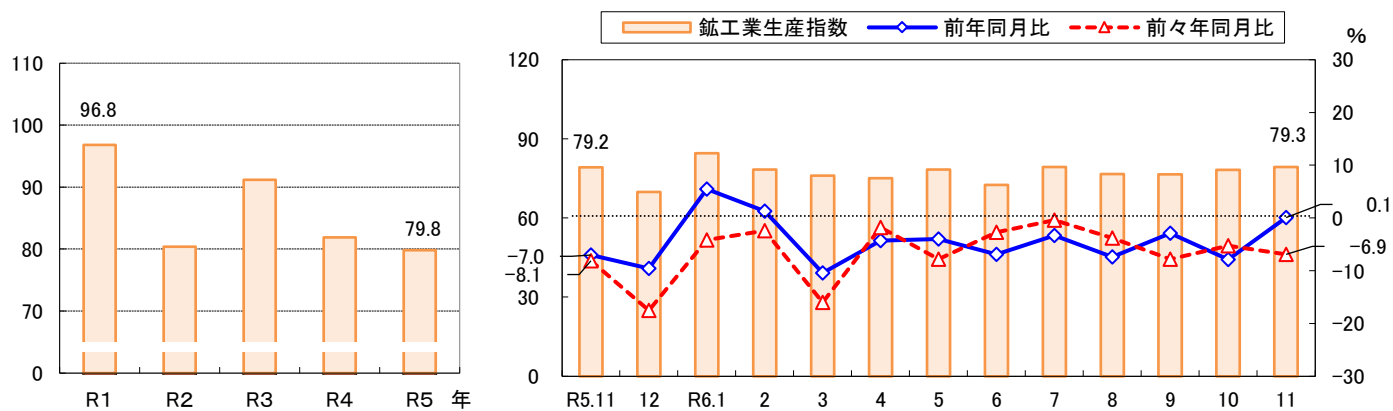
2 県内主要製造業の生産動向

(1) 鉄鋼（令和6年11月）

11月の鉱工業生産指数（鉄鋼業、原指数、速報値、平成27年＝100）は79.3で、前年同月比で0.1%増加、前々年同月比で6.9%減少となっている。

鉱工業生産指数（鉄鋼業）（年別、月別・前年同月比・前々年同月比）

【県統計課】

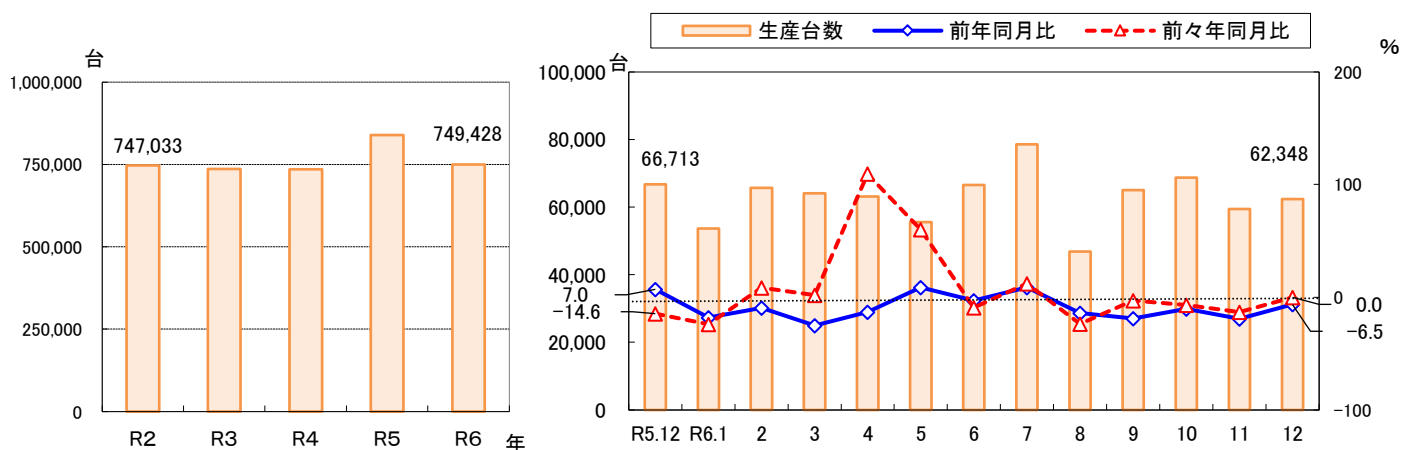


(2) 自動車（令和6年12月）

12月の国内生産台数は62,348台で、前年同月比で6.5%減少、前々年同月比で+0.0%となっている。

自動車生産台数（年別、月別・前年同月比・前々年同月比）

【マツダ（株）】

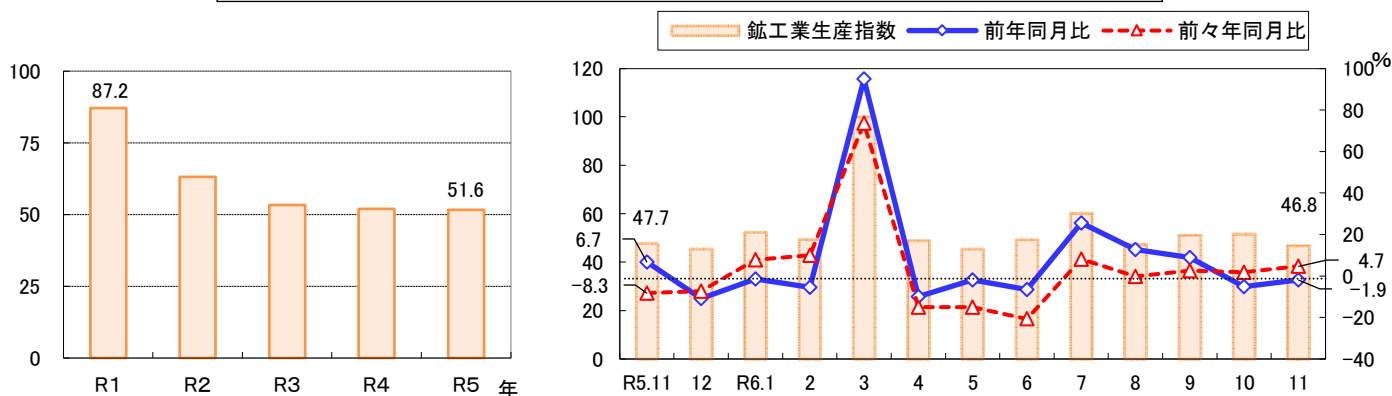


(3) 造船（令和6年11月）

11月の鉱工業生産指数（造船部門、原指数、速報値、平成27年＝100）は46.8で、前年同月比で1.9%減少、前々年同月比で4.7%増加となっている。

鉱工業生産指数（造船部門）（年別、月別・前年同月比・前々年同月比）

【県統計課】

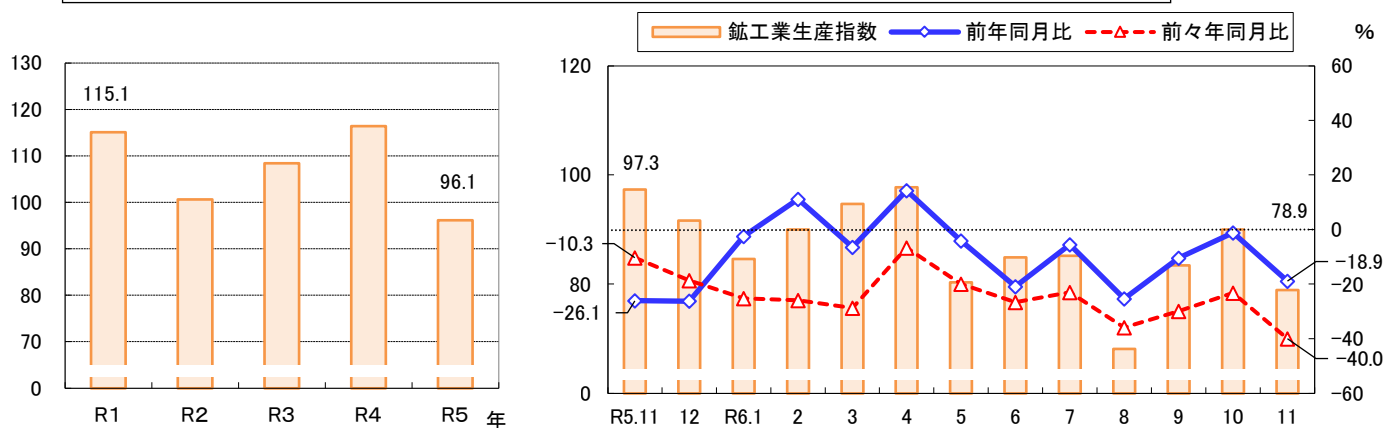


※造船部門に含まれる鋼船修理は、工事終了時での報告に依拠しており、令和6年3月において、生産指数の大幅上昇に寄与していた。

(4) 一般機械（令和6年11月）

11月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年＝100)は78.9で、前年同月比で18.9%減少、前々年同月比で40.0%減少となっている。

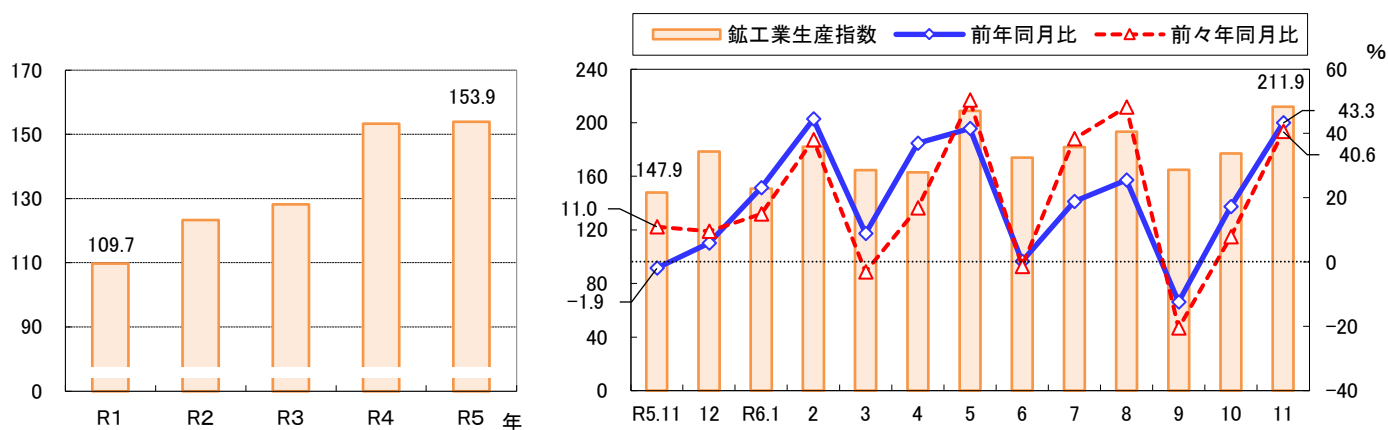
鉱工業生産指数（一般機械（総合））（年別、月別・前年同月比・前々年同月比） 【県統計課】



(5) 電気機械（令和6年11月）

11月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年＝100)は211.9で、前年同月比で43.3%増加、前々年同月比で40.6%増加となっている。

鉱工業生産指数（電気機械工業（総合））（年別、月別・前年同月比・前々年同月比） 【県統計課】

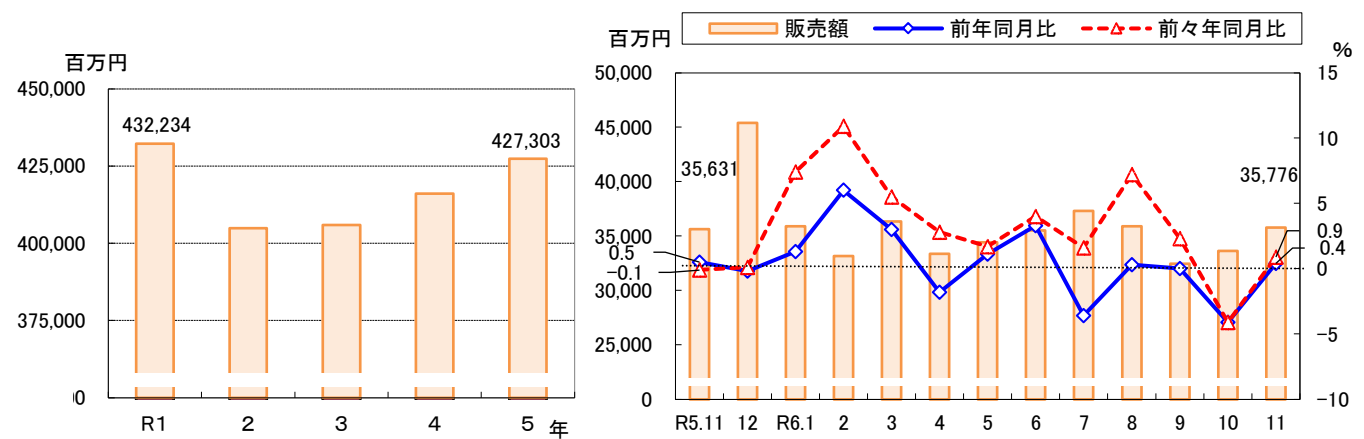


3 県内小売業等の動向

(1) 百貨店・スーパー（令和6年11月）

広島県の11月の販売額は、35,776百万円（速報値）で全店舗前年同月比で0.4%増加、前々年同月比で0.9%増加となっている。

中国地域百貨店・スーパー販売動向（広島県）（年別、月別・前年同月比・前々年同月比）【中国経済産業局】

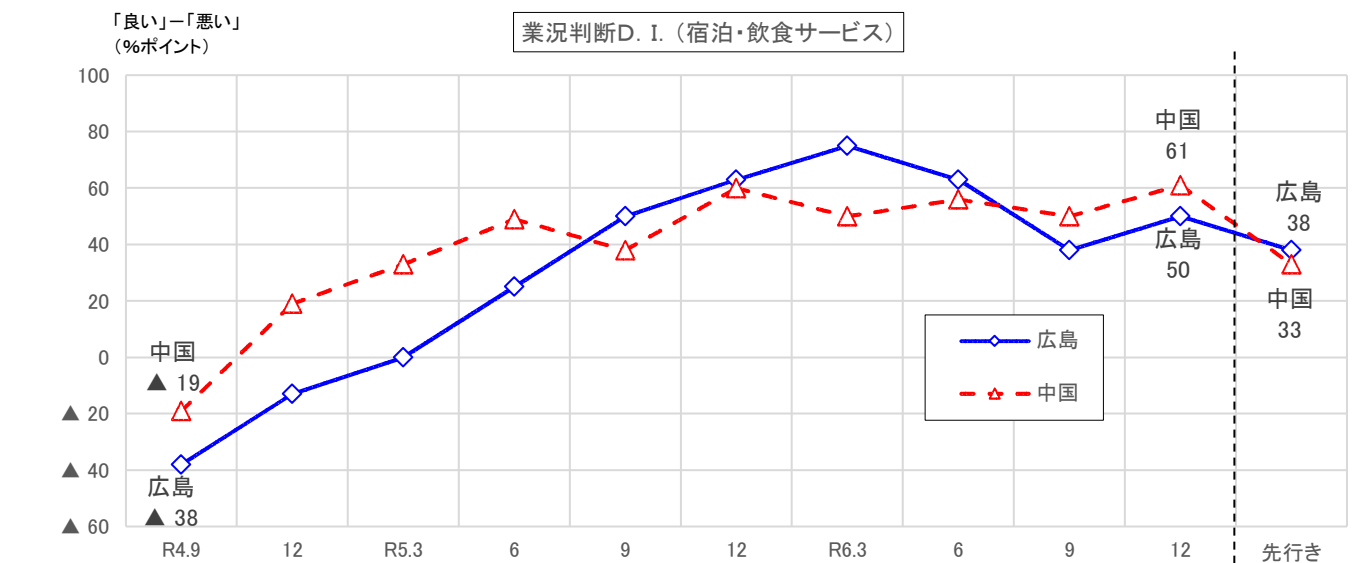


(2) 宿泊・飲食サービス（令和6年12月）

広島県の12月の業種別業況判断D. I.（宿泊・飲食サービス）は、50%ポイントと前回調査時より12%ポイント改善している。

調査月	令和6年6月	令和6年9月	令和6年12月	
			最近	先行き
業況判断D. I. (変化幅)	63 (▲ 12)	38 (▲ 25)	50 (+12)	38 (▲ 12)

【日本銀行広島支店「企業短期経済観測調査結果の概要」（令和6年12月13日公表）】



(注) 業況判断D. I.（「良い」－「悪い」回答者数構成比）

(3) 観光

ア 宿泊者数（令和6年11月）

直近の数値である、令和6年11月の宿泊者数は116.4万人泊で、前年同月と比べ4.9万人泊増（＋4％）、コロナ前の令和元年同月と比べて15.3万人泊増（＋15％）となった。また、令和6年11月の外国人宿泊者数は21.2万人泊で、令和元年同月と比べて10.6万人泊増（＋99％）と大幅に増加した。

【観光庁 宿泊旅行統計調査】

（単位：万人泊）

区 分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1－11 月計	
広島県	宿泊者数	74.6	80.6	109.4	100.5	111.6	92.5	96.3	116.8	105.7	118.2	116.4	発表前	1,122.5	
	R 5 年宿泊者数	71.7	72.8	100.6	97.2	112.3	86.2	92.1	118.1	94.5	109.5	111.5	90.4	1,066.6	
	R 5 年比	104%	111%	109%	103%	99%	107%	104%	99%	112%	108%	104%	—	105%	
	R 元年宿泊者数	74.4	77.1	101.8	108.7	108.7	87.5	94.2	114.8	97.7	111.5	101.1	85.3	1,077.7	
	R 元年比	100%	105%	107%	92%	103%	106%	102%	102%	108%	106%	115%	—	104%	
全国	宿泊者数	4,565	4,785	5,511	5,190	5,390	5,036	5,666	6,498	5,371	5,884	5,712	発表前	59,567	
	R 5 年比	109%	112%	104%	110%	105%	106%	104%	101%	103%	104%	105%	—	105%	
うち外国人	広島県	外国人宿泊者数	7.3	8.4	19.9	22.8	19.9	13.6	15.7	14.3	17.5	25.1	21.2	発表前	185.7
		R 元年宿泊者数	7.0	6.2	11.6	18.1	12.5	9.8	12.7	10.5	9.3	16.5	10.6	7.4	124.8
		R 元年比	105%	136%	171%	126%	160%	139%	123%	136%	188%	152%	199%	—	149%
	全国	外国人宿泊者数	1,124	1,152	1,298	1,450	1,356	1,347	1,470	1,324	1,238	1,582	1,479	発表前	14,819
		R 元年比	122%	124%	136%	129%	139%	140%	136%	140%	150%	154%	163%	—	139%

※出典：観光庁宿泊旅行統計調査

R 6 年は宿泊旅行統計調査の速報値で、R 元年及びR 5 年は、確定値を反映。

R 6 年の宿泊者数は、宿泊旅行統計調査の確定値公表時に置き換えるものとする。

なお、数値については、単位未満の端数処理を行っているため、表内で一致しない場合がある。

イ 県内主要観光施設の観光客数（令和6年12月）

10～12月は、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞したことや、例年同期よりも気温が高く、紅葉が長期間かけて色づいたことなどにより、平和記念資料館や宮島の来訪者数が過去最高を記録するなど、R 元年及びR 5 年同期水準を上回る施設が複数見受けられた。

【各観光施設からの聞取調査】

（単位：人）

観光施設		R 元年			R 5 年			R 6 年		
		10 月	11 月	12 月	10 月	11 月	12 月	10 月	11 月	12 月
広島平和記念資料館		237,213	197,984	94,291	237,858	216,282	120,586	271,923	266,542	125,761
	R 元年比	—	—	—	100%	109%	128%	115%	135%	133%
	R 5 年比	—	—	—	—	—	—	114%	123%	104%
宮島来島者数		406,033	485,322	282,537	477,383	534,921	327,534	467,391	542,329	371,459
	R 元年比	—	—	—	118%	110%	116%	115%	112%	131%
	R 5 年比	—	—	—	—	—	—	98%	101%	113%
大和ミュージアム		97,758	88,610	55,034	76,915	77,563	49,578	76,296	78,366	54,862
	R 元年比	—	—	—	79%	88%	90%	78%	88%	100%
	R 5 年比	—	—	—	—	—	—	99%	101%	111%
道の駅たけはら		16,417	15,223	12,647	10,986	10,049	9,367	10,199	10,600	10,051
	R 元年比	—	—	—	67%	66%	74%	62%	70%	79%
	R 5 年比	—	—	—	—	—	—	93%	105%	107%
神楽門前湯治村（定期公演）		3,437	4,858	2,101	1,749	2,076	1,221	1,013	1,905	1,096
	R 元年比	—	—	—	51%	43%	58%	29%	39%	52%
	R 5 年比	—	—	—	—	—	—	58%	92%	90%
千光寺ロープウェイ		43,134	47,631	21,740	48,859	53,696	27,736	45,874	47,691	12,819
	R 元年比	—	—	—	113%	113%	128%	106%	100%	59%
	R 5 年比	—	—	—	—	—	—	94%	89%	46%
福山市鞆の浦歴史民俗資料館		2,072	1,842	768	1,559	2,099	935	1,452	2,457	331
	R 元年比	—	—	—	75%	114%	122%	70%	133%	43%
	R 5 年比	—	—	—	—	—	—	93%	117%	35%
国営備北丘陵公園（千人）		70	72	80	49	71	78	37	71	66
	R 元年比	—	—	—	70%	98%	98%	53%	98%	83%
	R 5 年比	—	—	—	—	—	—	75%	100%	85%

4 中小企業の動向（令和6年12月）

【広島県中小企業団体中央会（令和7年1月17日時点）】

（1）概況

高騰する原材料費、燃料費や人件費の価格転嫁が困難な状況にあることに加え、金利上昇等の影響により企業収益が圧迫されるなど、景況感は厳しい状況が続いており、先行きに対する不透明感も強い。

自動車関連業種では、12月の国内自動車販売台数は前年同月比▲9.1%と2か月連続減少。マツダ車は3.3%と3か月ぶりに増加した。

また、木材業界では、12月の全国新設住宅着工戸数は62,957戸で前年同月比▲2.5%。県内の12月の着工戸数は1,590戸で、前年同月比+22.7%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「12月の生産・販売状況について」に基づく

※木材業界に関する記載は、国土交通省が公表する「建築着工統計調査報告」及び広島県がホームページに掲載する「新設住宅着工戸数」の12月分のデータに基づく

（2）景況感・景況感の変化

業種	11月の景況感	12月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	普通	普通
木材	普通	普通
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	普通	悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	やや悪い	やや悪い
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	普通	普通
金属製品	普通	普通

業種	11月の景況感	12月の景況感
一般機械器具	普通	やや悪い
電気機械器具	普通	やや悪い
自動車部品	やや悪い	やや悪い
造船	普通	普通
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	普通	普通
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

（単位：業種）

景況感	11月	12月	増減数
好況	0	0	0
やや好況	0	0	0
普通	10	7	▲3
やや悪い	9	11	2
悪い	1	2	1

(3) 前月(11月)から変化のあった主な業種

業種	11月の 景況感	12月の 景況感	変化の理由・状況
印刷	普通	悪い	郵便料金の値上がりにより、年賀状の需要が著しく低下した。また、材料費や人件費等の上昇分を十分に価格転嫁できていない。 【広島県印刷工業組合】
一般機械器具	普通	やや悪い	売上は、前月比+1.5%、前年同月比+12.5%となった。日工会の記者会見では、内需で前月比増加も外需の大型受注が縮小したため、3か月ぶりの1,200億円割れとなったことが発表された。 【広島県東部機械金属工業協同組合】
電気機械器具	普通	やや悪い	売上は前月比▲8%、前年同月比▲8%となった。 【広島県東部機械金属工業協同組合】

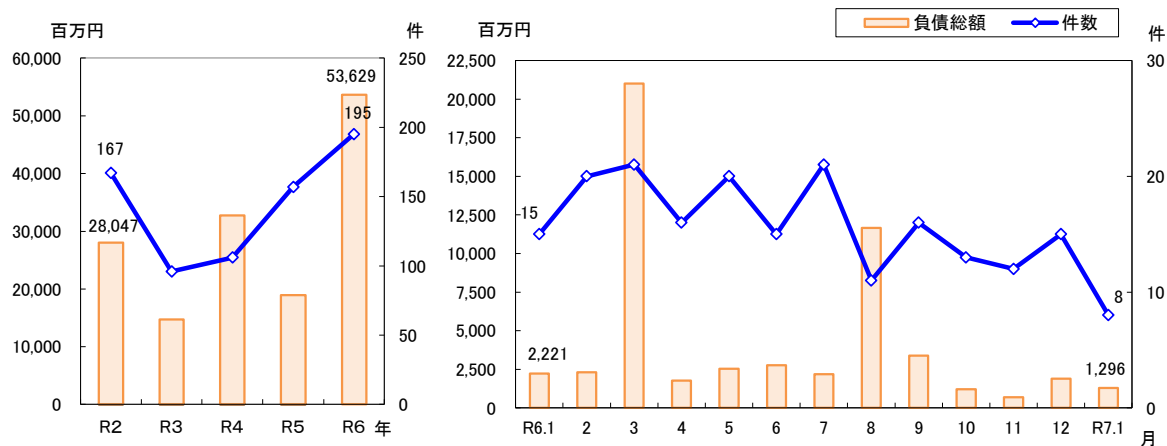
5 企業倒産状況（令和7年1月）

(1) 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が8件、総額12億9,600万円であった。
- ・前月比で件数は7件減少し、負債総額は6億300万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は7件減少し、負債総額は9億2,500万円減少した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）の発生はなかった。

区 分	令和6年11月	令和6年12月	令和7年1月
件 数 (前年同月比)	12件 (0.0%)	15件 (25.0%減)	8件 (46.7%減)
負債総額 (前年同月比)	685百万円 (48.8%減)	1,899百万円 (10.2%減)	1,296百万円 (41.6%減)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別・月別・前年同月比)



(2) 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が4件、建設業が2件、製造業、サービス業が各1件となった。
負債総額では、卸・小売・飲食業、建設業、製造業、サービス業の順となった。

(3) 原因別

原因別では、販売不振が6件、既往のシワ寄せが2件であった。

(4) 今後の見通し

令和7年1月度の倒産件数は8件で、1月度としては令和4年より2年ぶりに10件を下回った。負債総額は12億9,600万円で、3年連続で10億円を超えた。倒産件数は減少傾向ながら負債総額は増加が続く結果となった。

業歴別倒産状況では30年以上が4件、20年以上30年未満が2件、10年以上20年未満の発生は無かったが業歴10年以上の倒産が全体の75.0%を占め、前月12月度では業歴10年以上の倒産が全体の80.0%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振が6件で最多となり、既往のシワ寄せは2件、売掛金回収難は0件で、これらを合計した不況型倒産は8件で全体の100%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は1月度8件中3件発生し、これまでの累計は281件（負債総額1,000万円以上かつ弁護士一任・準備中を含む）となっているが、このうちゼロゼロ融資を利用した企業は1社のみであった。

ここ数ヶ月、広島県の倒産件数はやや減少傾向にあるが、全国的にみると令和6年の企業倒産は、平成25年（1万855件）以来、11年ぶりに1万件を超えた。四半期では、令和4年4-6月期から令和6年10-12月期まで11四半期連続で前年同期を上回り、企業倒産の増勢が鮮明になっている。

円安基調に乱高下が続き、物価上昇に歯止めがかからず、人手不足や最低賃金の引き上げなどで人件費も上昇し、幅広い分野でコストアップに見舞われた。また、コロナ禍の資金繰り支援で生じた過剰債務の解消が遅れ、企業収益に負担となって押し掛かっている。さらには金利上昇が発生するなど今後は財務戦略が重要さを増す。それだけに債務軽減や価格転嫁が困難な企業、収益にボトルネックを持つ企業は厳しさが増す可能性が高い。

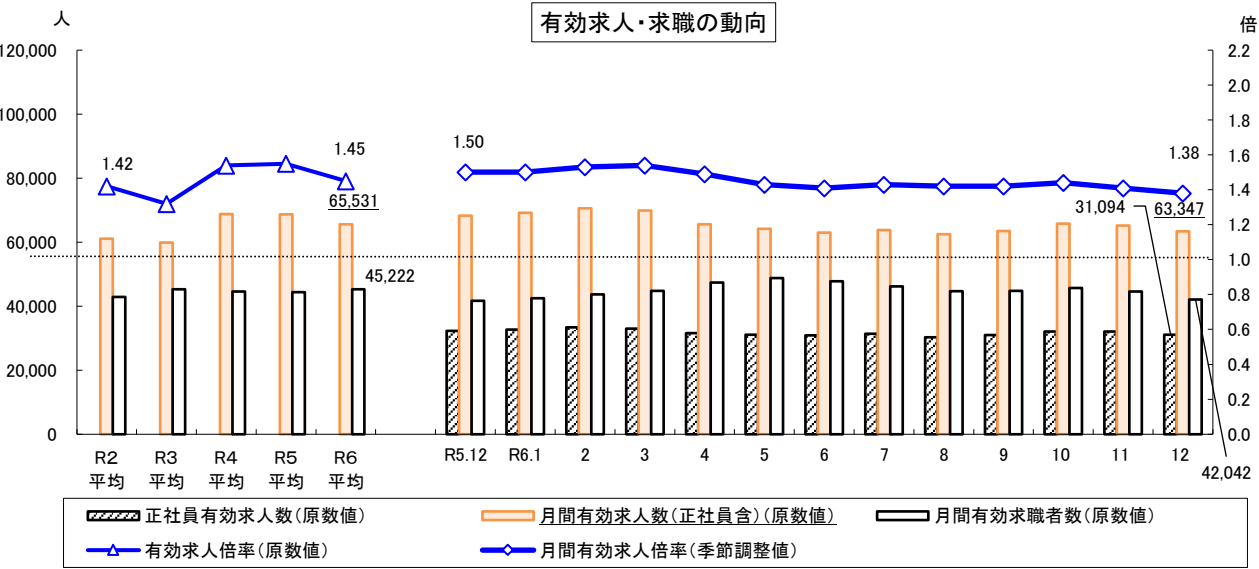
また、コロナ関連支援終了で事業継続が難しい企業、技術や商品に強みを持たない企業、人材育成が遅れた企業など、将来に向け自立的な事業推進が難しい企業も厳しくなる。企業は生き残りをかけたヒト・モノ・カネの見直しが急務となり、経営効率を求める運営は今後も継続されるものと見られる。また、その反面、時代の変化とともに競争に対応できない企業については今後も離脱を余儀なくされるものと見られる。

6 最近の雇用失業情勢（令和6年12月）

(1) 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和6年10月	令和6年11月	令和6年12月
有効求人倍率〈季節調整値〉 (前月比)	1.44倍 (+0.02ポイント)	1.41倍 (▲ 0.03ポイント)	1.38倍 (▲ 0.03ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.22倍 (+0.01ポイント)	1.26倍 (±0.00ポイント)	1.30倍 (▲ 0.01ポイント)

【広島労働局】

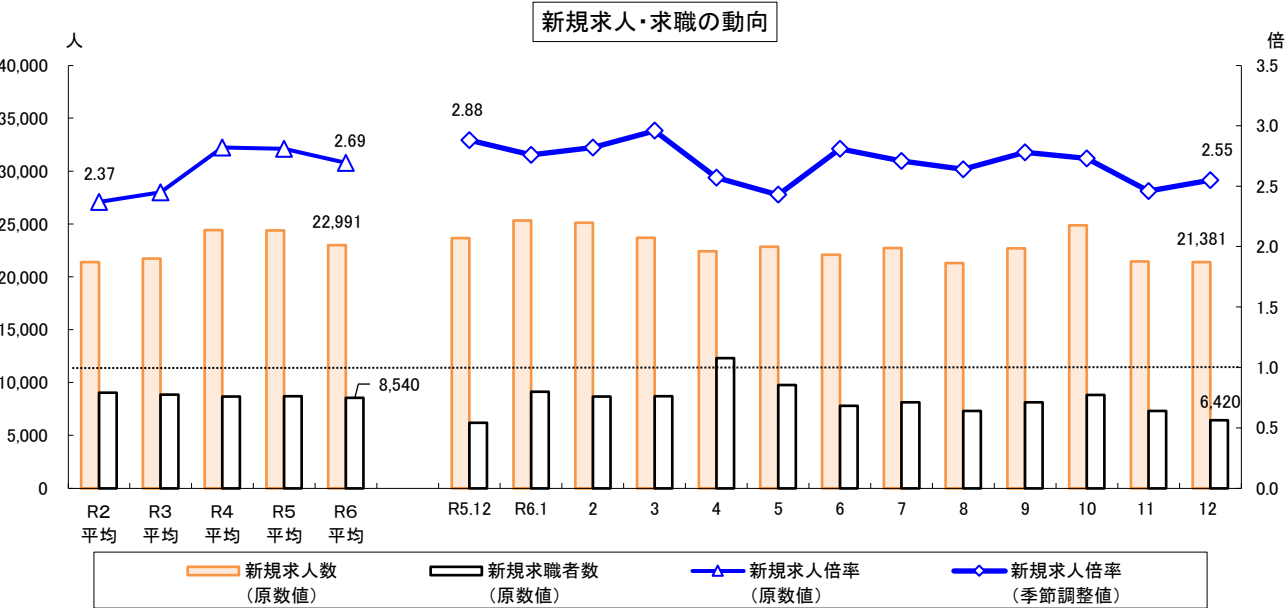


- (注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数（派遣労働者や契約社員を希望する者も含む）で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。
(注3) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去にさかのぼって改訂される。

(2) 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和6年10月	令和6年11月	令和6年12月
新規求人倍率〈季節調整値〉 (前月比)	2.73倍 (▲ 0.05ポイント)	2.46倍 (▲ 0.27ポイント)	2.55倍 (+0.09ポイント)

【広島労働局】

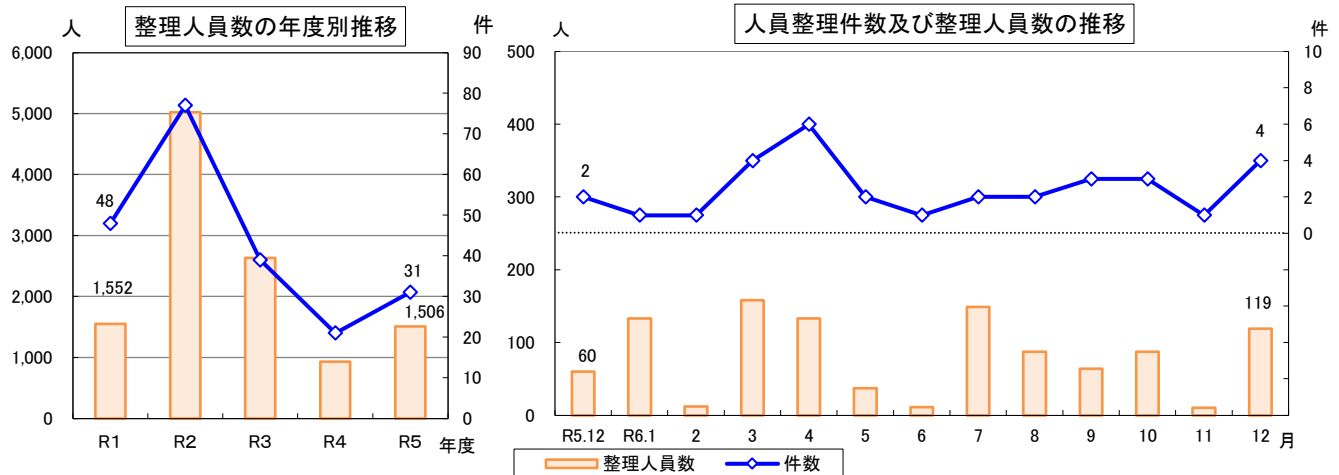


- (注) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去にさかのぼって改訂される。

(3) 県内の人員整理の状況（整理人員10人以上）

区 分	令和6年10月	令和6年11月	令和6年12月
件数 (前年同月比)	3件 (▲ 1件)	1件 (▲ 2件)	4件 (+ 2件)
整理人員 (前年同月比)	87人 (▲ 52人)	10人 (▲ 157人)	119人 (+ 59人)

【広島労働局】

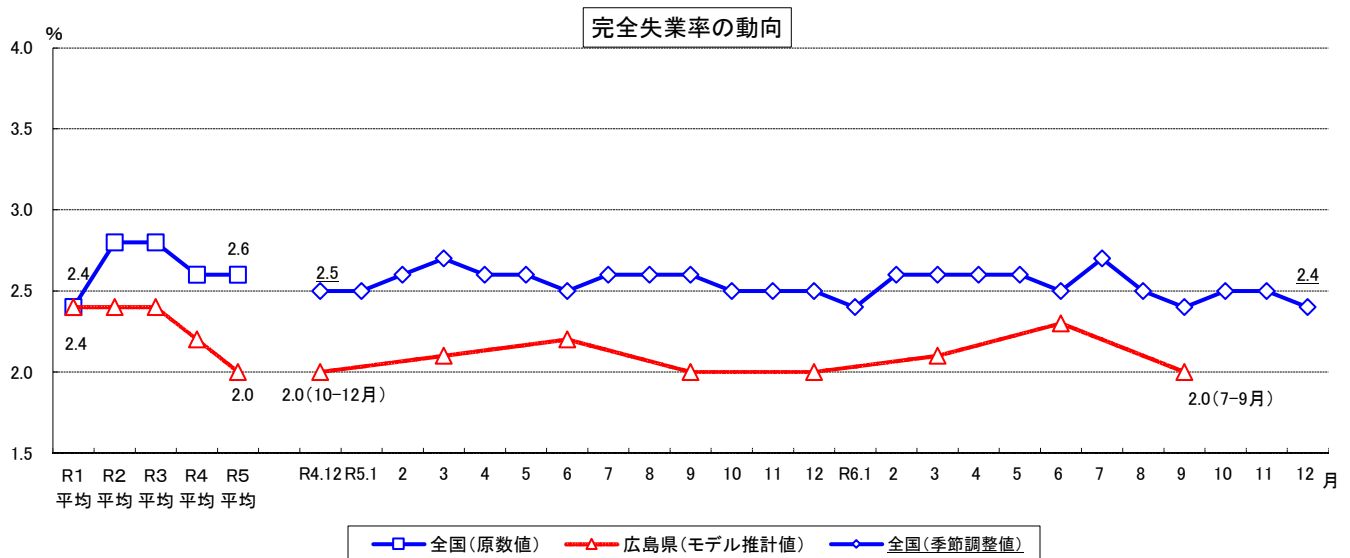


(4) 完全失業率の状況(全国・県内)

区 分	令和6年10月	令和6年11月	令和6年12月
全国完全失業者数 (前年同月比)	170万人 (▲ 5万人)	164万人 (▲ 5万人)	154万人 (▲ 2万人)
全国完全失業率〈季節調整値〉 (前月比)	2.5% (+0.1ポイント)	2.5% (±0.0ポイント)	2.4% (▲ 0.1ポイント)

区 分	令和6年		
	1～3月平均	4～6月平均	7～9月平均
広島県完全失業率 〈モデル推計値〉 (前年同期比)	2.1% (±0.0ポイント)	2.3% (+0.1ポイント)	2.0% (±0.0ポイント)

【総務省統計局】



※ 全国完全失業率の季節調整値は毎年1月分公表時に過去にさかのぼって改訂される。

※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。